令和7年第1回福祉医療常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和7年1月21日(木曜日)			開会	9:54		会議場所	別海町議会 委員会室3	
				閉会	15:15				
委員の出欠	3番	高橋 眞結美	出席	6番	宮越 正人	欠席	9番	小椋 哲也	出席
	10番	外山 浩司	出席	13番	中村 忠士	出席			
出席説明員	福祉部	福祉部長		福祉課長		介護支援課長		老人保健施設事務長	
		干場みゆき	欠席	石戸谷友絵	欠席	高橋 勇樹	欠席	渡辺 久利	欠席
		訪問看護ステーション所長		福祉課主幹		介護支援課主幹		居宅介護支援事業所長	
		堀 留美	欠席	澤田 憲一	欠席	松本 静香	欠席	大道 詳子	欠席
		福祉課主査		介護支援課主査		地域包括支援センター主査		老人保健施設主査	
		大森 晴海	欠席	天神 幸子	欠席	井川 仁	欠席	中田 幸規	欠席
		老人保健施設主査		老人保健施設主幹					
	佐藤 裕美	欠席	東田知佐子	欠席					
	保健生活部	保健生活部長		保健生活部次長兼保健センター長		保健生活部次長		保健生活部次長兼町民課長	
		小川 信明	出席	千葉 宏	欠席	田村 康行	欠席	谷村 将志	出席
		生活環境課長		保健課主幹		町民課主査		町民課主査	
		上田 健一	出席	畠澤みどり	欠席	小野 絵里	欠席	真籠 美香	欠席
		町民課主査		生活環境課主査		保健課主査		保健課主査	
		永田 恵一	欠席	中川 雅章	欠席	山崎さおり	欠席	能登麻奈美	欠席
		保健課主査		母子健康センター主査					
	佐伯 祐司	欠席	岩光理代子	欠席					
	別海病院	病院事務長		病院事務課長		病院事務課主幹		病院事務課主幹	
		三戸 俊人	欠席	椋木 直人	欠席	奈良 司	欠席	大森 圭介	欠席
	委員外の出席							合計	0名
	事務局職員	事務局長	干場 富夫					合計	1名
傍聴者数	一般	0名		報道関係者	0名		合計	0名	

令和7年第1回福祉医療常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 10番 外山	9:54 開会
	出席委員4名、欠席委員1名、会期1日
委員長 10番 外山	挨拶
	【保健生活部所管事務調査】
保険生活部長 小川	挨拶及び概要説明
委員長 10番 外山	議事1 所管事務調査
	(1) ごみ処理の状況について
生活環境課長 上田	・処分方法について資料により説明
委員長 10番 外山	質疑
委員 3番 高橋	・ごみの捨て方について、別海町はスプレー缶は穴を開けて出すのか。
生活環境課長 上田	・現在のルールでは、使い終わってから穴を開けて出してもらうようお願いしている。
委員 9番 小椋	・広域連合の焼却炉の改修により、最終処分場に持って行く灰の量が増えるという話も聞くが最終処分場はどのくらいまでもたせることができるか試算しているか。
生活環境課長 上田	・今の量だとすると、8年間、令和20年まではもつのではないかと計算している。 しかし、広域連合の工事期間中のもえるごみを、そのまま埋め立てるとなったら、一気に埋立て量が増える。 広域連合では、どう処分するか検討しているため、そのまま流れてくることはないと思っている。
委員長 10番 外山	・現在は、出た灰を各自治体が引き取らなければならないが、今検討していて、どうなるかわからないということか。
生活環境課長 上田	・灰自体は各町に引き取っていただける。 広域連合が工事に入ったときに、燃やせなくなるのでそれをどうするかという話。 埋め立てる手段をとる場合は、一気に埋立て量が増えるので、どこかの自治体をお願いして、燃やしてもらう等を検討していると考える。
委員 9番 小椋	・もし埋め立てることになった場合、すぐごみが増えると思うが、工事期間でいっぱいになることもあり得るのか。
生活環境課長 上田	・恐らくそうなる。なので、仮に全部埋め立てるとなれば、最終処分場を拡大するといったことも考えなければならないが、具体的なことは決まっていない。
委員 9番 小椋	・先ほどの8年というのは、広域連合の処理方法が新しくなった後の試算か。 それとも、改築が終了したらさらに短くなるのか。
生活環境課長 上田	・8年というのは、新しくなった後の試算。
委員 13番 中村	・「調理くず」の収集を開始し、一定の減量効果があると思うが、1年間でどのくらいの量が分別・搬入されていて、効果としてはどうなのか。 また、中西別のバイオプラントに搬入されていると聞くが、全量か。
生活環境課長 上田	・調理くずは令和4年は約3万7,600kg。 全て中西別のバイオプラントに運び込まれている。 効果としては、全体に占める量でいうとそこまで大きくはないが、ある程度の効果は間違いなく出ていると考えている。
委員 13番 中村	・西春別駅前では毎週月曜日に出すことになっているが、私以外あまり出していない。調理くずは必ず出ると思うが、分別がどの程度行われているか把握しているか。
生活環境課長 上田	・調理くずは、料理するときに切った野菜のへた部分などのこと。 生ごみとなると調理後のものも入るので、効果が増えるのではと思い、収集を検討したが、現在18分別と種類が多く、町民負担がかかることから、すぐに開始する考えはない。
委員 13番 中村	・現在の調理くずのルールでは、卵の殻、へた、果物の皮等あるが、あまり出していないよう

令和7年第1回福祉医療常任委員会 要点記録

	<p>な気がする。周知の問題や、分別が面倒という気持ちもあると思うが、量が増えれば中西別のバイオプラントでもエネルギーになり、余れば別海バイオガス発電株式会社に持っていくことになるかもしれない。</p> <p>周知し、理解も得れば、実態としてもっと調理くずの分別が進むのではないかと思うがどうか。</p>
<p>生活環境課長 上田</p>	<p>・そのとおりだが、調理中にその部分だけを除けておくなど、調理くずだけを分別するのは大変だと思う。</p> <p>先ほどの話に戻ってしまうが、生ごみ全般にしてしまえば、もっと捨てやすくなり、効果上がることも考えているが、19分別にするには早いのではないかと考え、様子を見ている段階。</p>
<p>委員 13番 中村</p>	<p>・理解したが、実際やっていてそんなに面倒ではない。もっと周知したらいいと思う。</p>
<p>保険生活部長 小川</p>	<p>・現在、生ごみは通常のもえるごみとして処分されている。その中でどれだけ分別できるか、正確な量の把握は実際には難しく、不可能に近い。そのことを前提として話す、分別するに当たって、出す側の苦労もあるが、収集する側のコストもある。</p> <p>収集頻度、専用車、ごみの収集コストのほうがかさむという形になり、分別する意義、費用対効果を考える。</p> <p>町としても、ごみ対策以前に、エネルギー対策としてバイオガス発電もやっているの、先進地の事例などを参考にして、どの手段が最適か検討していく形。</p>
<p>委員 9番 小椋</p>	<p>・調理くずは、加熱していないものに限定されているが、バイオガス発電にとっては、加熱したものであってもあまり変わらないのではないか。</p> <p>分別を増やすのではなく、調理くずの範囲を拡大するのはどうか。</p> <p>調理くずか、生ごみとしてもえるごみに出さなければいけないか、という仕切りが難しいこともあるので、「食べ物全部生ごみ」としたほうがシンプルになるのではないか。</p> <p>その後の利用の部分で、今のルールは当初、エコフート、餌にするという話も聞いていたのでそういった仕切りなのかと思っていたが、バイオガスプラントに入れるなら、その仕切りはどいった意味があるのか。</p>
<p>生活環境課長 上田</p>	<p>・生ごみ全般をバイオガス発電は受け入れてくれる。しかし、収集コストがかかるので、調理くずは調理前、という仕切りをつけている。</p> <p>将来的には生ごみとして全部収集したいと考えている。</p>
<p>委員 9番 小椋</p>	<p>・今の調理くずは収集できるが、生ごみに拡大すると収集できないのは、ボリュームの問題か。</p>
<p>生活環境課長 上田</p>	<p>・ボリュームの問題もあるが、生ごみという種類の収集日を設けないといけない。</p> <p>調理くずもそうだが、生ごみの収集が週に1回となると、臭いや保管場所の問題がある。また、今の収集体制では余裕がないので、新たな収集日を設定するのが難しい。</p>
<p>委員 9番 小椋</p>	<p>・現在、調理くずは収集している。調理くずも食べ物なので傷むが、調理後の生ごみのほうが傷みやすいという特性があるため、今は特に問題になっていないのか。</p> <p>週に1回収集している調理くずに生ごみが増えるのは、ボリュームは当然何倍かになるのが問題かと思ったが、傷みやすいという問題なのであれば、調理くずも変わらないのではないか。</p>
<p>生活環境課長 上田</p>	<p>・調理くずは量が少ないので、収集日まで冷凍庫など家庭で保管できるが、生ごみ全般になると、食べ残しもすべて含まれ、量が多くなるので、臭いを発しないように家庭で保管は難しく、なかなか収集がないのも難しいのではないかと考えている。</p>
<p>委員 9番 小椋</p>	<p>・調理くずも、今集めていない生ごみも、基本特性は一緒、処理方法も一緒、だけでも家庭内でも収集集積場でもボリュームが増える事での問題が顕在化しやすいであろうということで様子を見ているという認識でよいか。</p>
<p>生活環境課長 上田</p>	<p>・今後はわからないが、今はそういったことがあるのではないかとということで踏み切っていない。</p>

令和7年第1回福祉医療常任委員会 要点記録

委員	9番	小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・処理方法について、中西別のバイオガスプラントに搬入しているとあったが、現在は止まっているのではないか。 ・発電は止まっている。
生活環境課長		上田	
委員	9番	小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・発電施設が壊れて、発酵施設として堆肥処理利用という認識でいいか。 今現在発電していて、食品残渣も受け入れている別海バイオガス発電株式会社に切り替える可能性はないのか。
生活環境課長		上田	
委員	3番	高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・今は未定な部分もある。中西別のバイオガスプラントの施設もいつまで続けるか未定の中で、移行していくことも考えていかなければならない。 ・スプレー缶の収集に穴を開けない自治体が増えているが、消防から何か意見はあったか。
生活環境課長		上田	
委員長	10番	外山	<ul style="list-style-type: none"> ・消防から、スプレー缶の出し方を変えるように、といった警告は受けたことはない。 ・他に質疑あるか。
委員		一同	
委員長	10番	外山	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑なし。
現地調査			
			10:20～11:20 別海町ごみ処理場
			13:00～14:30 根室北部廃棄物処理広域連合
委員長	10番	外山	質疑
委員	13番	中村	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDを見て、ガス化熔融炉は21世紀の最先端の技術だと思った。その最先端の技術を今回取らないということは、より効率的にという意味で採用しようとしていると思うが、最も大きな違いと、メリットについて、町民にどう説明したらいいか。 ・資料が手元にないため、細かいところまでは説明できないが、今は流動床式ガス化熔融炉。 ガス化熔融炉がなくなって焼却式になる。DVDでは21世紀の新技術となっているが、コンサルで調べると、焼却式が最新になっている状況。 その中で、今回は流動床式に焼却式をつけるというのが、コスト的にも一番いいのではないかとこのころで選んだというふうになっている。
生活環境課長		上田	
委員	13番	中村	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと優れた技術が開発されたんだという理解でいいか。22世紀を先取る技術だと。 ・今のは最先端ではないということ。 ・当時設計した当初は法規制があって、ダイオキシンをなくすというのが主たる項目だったと思う。 そして、そのダイオキシンをなくす技術というのはここ20年でものすごく発達したので、今後を見据えてといっても、廃棄物関係技術は処理も含めて進歩していくと思う。 全国的に、同じやり方でも規模によってもコストが変わってくる。コンサルに聞いた話では、ガス化でも規模とか運用ローテーションのやり方によっては、小さいところだったらこっちのほうが有意に働く場合もある。 一概に焼却方法だけでなく、今うちの町のあるものを変えていくのにどうしたらいいかという点での最前線という形だと思う。 運用ルール等を今後煮詰めていくことになるかと思うので、町としてもしっかり確認して進めていきたいと考えている。
生活環境課長		上田	
保険生活部長		小川	<ul style="list-style-type: none"> ・当時設計した当初は法規制があって、ダイオキシンをなくすというのが主たる項目だったと思う。 そして、そのダイオキシンをなくす技術というのはここ20年でものすごく発達したので、今後を見据えてといっても、廃棄物関係技術は処理も含めて進歩していくと思う。 全国的に、同じやり方でも規模によってもコストが変わってくる。コンサルに聞いた話では、ガス化でも規模とか運用ローテーションのやり方によっては、小さいところだったらこっちのほうが有意に働く場合もある。 一概に焼却方法だけでなく、今うちの町のあるものを変えていくのにどうしたらいいかという点での最前線という形だと思う。 運用ルール等を今後煮詰めていくことになるかと思うので、町としてもしっかり確認して進めていきたいと考えている。
委員	13番	中村	
			<ul style="list-style-type: none"> ・町民の中には、燃やすごみは、生ごみの関係も含めて突き進めて追及して、より燃やすということから離れていく、解消していくということにならないかという意見もあると思う。実際、燃やさないという事で処理している自治体もある。それから、燃やすにしても各自治体にあったやり方で、小規模の焼却炉で、ということにならないのかといった意見もある。 そういった方々にも、丁寧に説明していかないといけないといった意味では、極論で言うと、別海町単独でやった場合、コスト的にこうです、4町広域で今までのようにやった場合のコストはこうです、と比較できるようなものも必要かなと思う。 私が説明する上でもそういう資料があればなと思う。そんな試算や、あるいは資料提供

令和7年第1回福祉医療常任委員会 要点記録

		<p>は考えているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較資料的なもの、町民に対して説明するものについて、今広域連合では方向性を決めただけというのが正直なところなので、次は中身について詳しく、方向性は決まったけどやり方、どういうふうにするのか、またそれに伴ってコストがどうなるのか。 詳細が分かった段階で広く町民にお知らせするような手段を考えている。
保険生活部長	小川	
委員長	10番 外山	<ul style="list-style-type: none"> ・他に質疑あるか。
委員	一同	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑なし。
委員長	10番 外山	議事2 その他
		(1) 火葬場の使用料の改正について
保険生活部長	小川	<ul style="list-style-type: none"> ・資料により報告 <p>昨年末、中標津町外2町葬斎組合の事務局である中標津町役場から、火葬場使用料の改定をしたい旨の連絡があった。</p> <p>1月10日、使用料改定の内容の通知を受け、それに対する意見を求められたところ。別海町として、理事者を交えて協議した結果、このままでは承服しかねるといことで、資料のとおり意見を提出した。</p> <p>現段階では、料金改定は決定ではないが、今後葬斎組合において議事が諮られ、決定していくもの。</p> <p>途中経過であるが、報告する。</p>
委員長	10番 外山	確認事項
委員	3番 高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・「胞衣産わい物」は、業者が持ち込むものではないのか。個人が持ち込む場合もあるのか。
保険生活部長	小川	<ul style="list-style-type: none"> ・別海病院で考えると、胎盤処置料という形になる。 <p>個人で持ち込むのではなく、代理となって病院が受けて、病院が搬出する。今後別海病院では出産を取り扱わないので、胎盤処置料というものはなくなるのではないかと考える。</p> <p>ほかに記載のある、「上肢、下肢等身体の一部」というのは、例えば糖尿病などで下肢切断した場合は本人、家族が直接持ち込む形になる。</p>
委員	3番 高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・「胞衣産わい物」の1,200円は、病院で医療費としてもらっていたのか。
保険生活部長	小川	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費としてではなく、別途、別海病院がお預かりして、葬斎組合の領収書をお渡しする形をとっていた。
委員	9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、各町の担当を含め、検討する機会はあるのか。
保険生活部長	小川	<ul style="list-style-type: none"> ・現段階では、今後において、町で意見を持ち寄って協議を行う時間的余裕がない。 <p>中標津の事務局に確認したところ、2月末に行われる葬斎組合の議会において決定するとのことだった。事実的に、いま我々が町として意見を出したが、その意見がどう反映されて、どのような形で議案という形になるのか、なるのかならないのかも含めて現段階でははっきりしていない。ただ、最終的なところでは、葬斎組合の議会で議決となるのは間違いはない。</p>
委員	9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・今葬斎組合が管理している火葬場は2箇所だが、中標津町の火葬場を別海町民が利用するケースもあると思うが、その場合も10万円ということか。それとも組合単位か。
生活環境課長	上田	<ul style="list-style-type: none"> ・構成町の方であれば、どちらも変わらない価格。
委員長	10番 外山	<ul style="list-style-type: none"> ・別海町からも、葬斎組合議員として4名出ているが、反対は難しいか。
委員	9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・議長へ相談ではないか。今週の臨時会の後に議員間討議がある。 <p>この情報は、福祉医療常任委員会以外には共有されているのか。</p>
事務局長	干場	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ。葬斎組合議員となっている議員へも情報共有したほうがいいのでは。
委員	9番 小椋	<ul style="list-style-type: none"> ・議員間討議で情報共有したほうがよいのではないか。
事務局長	干場	<ul style="list-style-type: none"> ・全議員となってしまいが。

令和7年第1回福祉医療常任委員会 要点記録

委員	9番	小椋	<ul style="list-style-type: none">・全町民に関わるのでいいのではないかな。・委員会内で協議してもどうにもならないので、議会の中で事実経過の情報共有が必要ではないかな。・別海町議会からの葬斎組合議員も、当日知るよりも、情報共有し、意見をまとめていったほうがいいのではないかな。 <p>このままでは、事務局が直前で決定し、協議せずにとおってしまう体制になってしまう。</p>
委員	13番	中村	
委員	9番	小椋	
委員長	10番	外山	
閉会挨拶			15:15 閉会